

苫小牧CCS実証試験を通じた 地元理解促進活動

2022年11月22日

日本CCS調査株式会社

① 地元自治体の理解・協力

苫小牧市役所が事務局となって

「苫小牧CCS促進協議会」（現：苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会）
を設立、商工会議所や漁協もこれに加盟し、地元を挙げてサポートしていただいた。

② 正確かつ迅速な情報共有

地元ステークホルダーとのコミュニケーションミス(主に操業トラブル発生時の報告の遅れ)等により、心配をおかけすることになる事象が発生した。

→ 随時改善し、正確かつ迅速な情報共有を行う体制を構築

③ 地道な理解促進活動の継続

苫小牧やその周辺地域における情報発信活動を精力的に行い、地元の幅広い年齢層への理解促進に努めるとともに、苫小牧地域以外へのCCSそのものの理解促進活動も実施



（※課題）CCS自体の認知度は現在においても高いとは言えない

①の例：苫小牧市との連携

目的

地元の皆さまにCCSの安全性を理解いただくために、モニターで実証試験のデータを公開。
苫小牧市の公式Youtubeチャンネルでも取り上げていただき多くの市民にCCSの情報発信

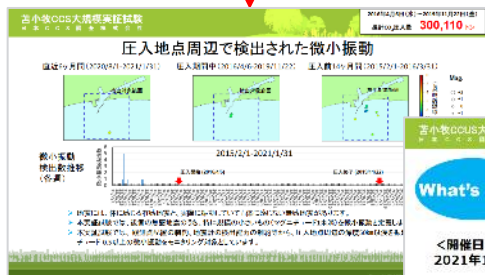
苫小牧市役所ロビーのモニター設置を継続し 最新情報等を公開

* 現在は2F市民情報コーナーに移動



苫小牧市役所1F
ホール

モニタリングや イベント情報等を公開



情報公開モニター

What's New

アクセスサッポロで開催された
第35回「ビジネスEXPO」に出展しました！

<開催日>
2021年11月11日～11月12日

昨年に引き続き、北海道最大級のビジネスイベントで
パネルやパンフレットを展示させていただき、
たくさんの方にCCSについてご紹介することができました！

苫小牧市公式YouTubeチャンネル 『突撃！とまエコ企業』で、 苫小牧CCS実証試験センターが紹介！



苫小牧市の環境保全課では、市内にあるエコな取組みをしている
企業や工場を訪問して撮影・編集した動画を公開し、
オンライン上でエコな取組みを学べる企画を推進しています



撮影の様子

① 地元自治体の理解・協力

苫小牧市役所が事務局となって

「苫小牧CCS促進協議会」（現：苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会）
を設立、商工会議所や漁協もこれに加盟し、地元を挙げてサポートしていただいた。

② 正確かつ迅速な情報共有

地元ステークホルダーとのコミュニケーションミス(主に操業トラブル発生時の報告の遅れ)等により、心配をおかけすることになる事象が発生した。

→ 随時改善し、正確かつ迅速な情報共有を行う体制を構築

③ 地道な理解促進活動の継続

苫小牧やその周辺地域における情報発信活動を精力的に行い、地元の幅広い年齢層への理解促進に努めるとともに、苫小牧地域以外へのCCSそのものの理解促進活動も実施



（※課題）CCS自体の認知度は現在においても高いとは言えない

① 地元自治体の理解・協力

苫小牧市役所が事務局となって

「苫小牧CCS促進協議会」（現：苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会）
を設立、商工会議所や漁協もこれに加盟し、地元を挙げてサポートしていただいた。

② 正確かつ迅速な情報共有

地元ステークホルダーとのコミュニケーションミス(主に操業トラブル発生時の報告の遅れ)等により、心配をおかけすることになる事象が発生した。

→ 随時改善し、正確かつ迅速な情報共有を行う体制を構築

③ 地道な理解促進活動の継続

苫小牧やその周辺地域における情報発信活動を精力的に行い、地元の幅広い年齢層への理解促進に努めるとともに、苫小牧地域以外へのCCSそのものの理解促進活動も実施



（※課題）CCS自体の認知度は現在においても高いとは言えない

③の例：苫小牧とその近隣地域における情報発信活動(2021年度) 6

目的

Face to faceで丁寧に説明し、質疑応答や意見交換により信頼関係を構築し、CCSと実証試験への理解を深める

実績

パネル展 5回、展示会 3回、講義・講演 6回

パネル展	5/24～5/25	オンライン	北海道庁パネル展
	6/1～8/3		トヨタカローラ苫小牧ショールームパネル展
展示会	7/8	オンライン ハイブリッド オンライン	商工会議所「ゼロカーボン社会に向けた産業拠点都市の挑戦」
	8/2～8/31		苫小牧西港フェリーターミナル
	2/11-28		第36回北方圏国際シンポジウム ポスター展示
講義・講演	8/7～8/20	オンライン ハイブリッド オンライン	エコチルまつりバーチャル2021
	11/11～11/12		第35回ビジネスEXPO(札幌)
	1/8～1/14		環境広場さっぽろ2021
	5/20、7/1		室蘭工業大学 ひと文化系領域①、ひと文化系領域②(室蘭)
	7/30		日本エネルギー学会北海道支部研究発表会
その他	10/13	ハイブリッド	北海道大学 大学院工学研究院 環境循環システム部門
	11/11		石油学会函館大会(函館)
	11/30		苫小牧工業高等専門学校
	4/23		道新対談企画広告 トヨタカローラ苫小牧×JCCSのTOP対談+苫小牧市
	8/23		テーマ:「地域と環境に寄り添う企業を目指して」 「地域で学ぼうSDGS! 夏休み1日自由研究」 ●主催:北海道新聞 ●協賛:トヨタカローラ苫小牧 ●協力:トヨタ自動車北海道、JCCS、●後援:苫小牧市、苫小牧市教育委員会

苫小牧工業高等学校専門学校



第35回ビジネスEXPO



地元企業（トヨタカローラ苫小牧）とのコラボによる広報活動



①道新掲載の対談記事



②パネル展



③地域で学ぼうSDGS! 夏休み1日自由研究



■ 実績

* 苫小牧周辺地域での実施、オンライン実施を含む

大学講義 *	計14回	943名	(計11回 728名)
講演会（企業・団体向け） *	計15回	911名	(計5回 530名)
パネル展 *	計6回		(計4回 1023名)
展示会 *	計6回	4,058名	(計4回 1234名)
現場見学会	計91件	545名	(計21件 82名)

■ 年間の活動の様子

日本エネルギー学会北海道支部
研究発表会 特別講演



東北工業大学 工学部
+ ライフデザイン学部



早稲田大学 理工学術院
創造理工学部



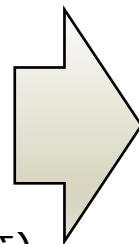
エコプロ 2021
持続可能な社会の実現に向けて



グローバルPA／ローカルPAの役割分担

グローバルPA：国民一般に対し、国による実施が必要

- CCSとはこういったものか
- CCSがなぜ必要なのか
- CCSを実施することによる効果
- CCSの安全性（リスクとその回避策）



活動の具体例

- 講演会、大学等での講義
- 政府広報・パネル展等
- 海外連携（情報収集／発信）

ローカルPA：地元ステークホルダーに対し、 CCS(貯留)事業者による実施が必要

- 個別の事業計画
- 地元に対するメリット、デメリット
- 地元ステークホルダー(地方自治体、経済界、漁業関係者等)の了解取り付け 等

※ 貯留適地調査(弾性波探査／試掘)実施にもこうしたPA活動が必要